

算定式を用いた計算法 (N値計算法)

筋かいおよび構造用合板を取り付けた柱頭部、柱脚部について算定式により接合方法を選択します。

[式1]
平屋または最上階の柱

$$N = A1 \times B1 - L1$$

A1: 当階柱の左右壁倍率差+補正值
 B1: (当階柱が) 出隅の柱=0.8/その他の柱=0.5
 L1: (当階柱が) 出隅の柱=0.4/その他の柱=0.6

[式2]
2階建ての1階部分の柱

$$N = A1 \times B1 + A2 \times B2 - L2$$

A1・B1: [式1]と同じ
 A2: 直上階柱の左右壁倍率差+補正值
 B2: (直上階柱が) 出隅の柱=0.8/その他の柱=0.5
 L2: (当階柱が) 出隅の柱=1.0/その他の柱=1.6

補正值1 筋かいが片方から取付く柱

筋かいの取り付く位置	図1:柱頭部		図2:柱脚部		図3:柱頭・柱脚部	
	筋かいの種類					
30×90mm以上の木材	0.5		-0.5		たすき筋かいの場合は補正値を「0」とする	
45×90mm以上の木材	0.5		-0.5			
90×90mm以上の木材	2.0		-2.0			

補正值2 両側が片筋かいの柱

一方が筋かい 他方が筋かい	筋かいの種類			備考
	30mm以上×90mm以上の木材	45mm以上×90mm以上の木材	90mm以上×90mm以上の木材	
30×90mm以上の木材	1.0	1.0	2.5	両筋かいがともに柱脚部に取付く場合は補正値を「0」とする
45×90mm以上の木材	1.0	1.0	2.5	
90×90mm以上の木材	2.5	2.5	4.0	

補正值3 一方が片筋かい、他方がたすき筋かいの柱

一方が片筋かい 他方がたすき筋かい	筋かいの種類			備考
	30mm以上×90mm以上の木材	45mm以上×90mm以上の木材	90mm以上×90mm以上の木材	
30×90mm以上の木材	0.5	0.5	2.0	片筋かいが柱脚部に取付く場合または両筋かいがともにたすきに取り付く場合は補正値を「0」とする
45×90mm以上の木材	0.5	0.5	2.0	
90×90mm以上の木材	0.5	0.5	2.0	